

“南海トラフ地震について”

神戸西ワイズメンズクラブ・神戸ポートワイズメンズクラブ合同例会

災害列島の日本では、様々な災害が起こり、多くの人々が苦難に立たされています。今年も連続する台風の襲来に多くの地域が被災地となっています。特に、大規模地震の発生は、25年前に阪神淡路大震災を経験した私たちには、特別で身近な関心事です。遠からじ、と予想される南海トラフ地震について、地質学ご専門の田結庄良昭氏をお招きして学びたいと計画しました。どなた様も是非、お越してください。

日 時：**11月14日（木）** 午後6時30分～8時30分

場 所：神戸YMCA三宮会館 3F 308教室

ゲスト：田結庄（たいのしょう）良昭氏

（神戸大学名誉教授（理学博士））

会 費：1,000円（夕食代として）

申 込：神戸ポートワイズメンズクラブ 会長 水野まで

ymizuno@hi-net.zaq.ne.jp

または 090-5098-3654



「六甲山地は風化した花崗岩からなり、断層運動により隆起を続けてきました。そのため、崖崩れが起こりやすい急な崖が発達し、大雨や地震動で崩れやすい山地です。また、沿岸部は約6000年前の縄文海進時に堆積した泥からなる軟弱地盤のため、地震動が増幅されるほか、液状化しやすく、建物に大きな被害を与えます。南海トラフ地震により兵庫県では3分以上の強い地震動が生じ、家屋の倒壊や大規模な液状化被害は避けられません。山地も崩壊するでしょう。沿岸部では津波が浸水し、内陸部深くまで遡上します。防災対策として、阪神大震災で護岸が約2m沈下した経験から、鋼管杭工法や砂杭打設など護岸沈下や液状化対策が必要です。（田結庄教授、某講演要旨より）」